クイックウルトラサーモ
QUT50

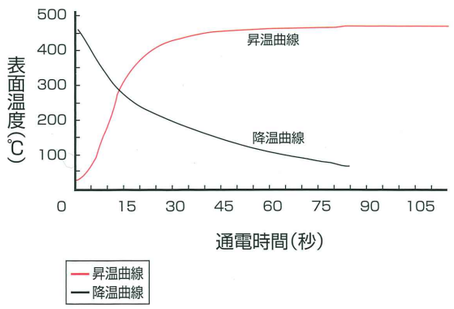
すばやい昇温、すばやい降温

特　長

- 急速30秒昇温・急速降温ができます。
- 放射特性は抜群です。
- 必要最小限の電力で加熱ができます。
- 作業サイクルの大幅短縮、生産性の向上に寄与します。
- 高精度の温度コントロールが可能なため、セット内温度差を自由に制御できます。

昇降温曲線

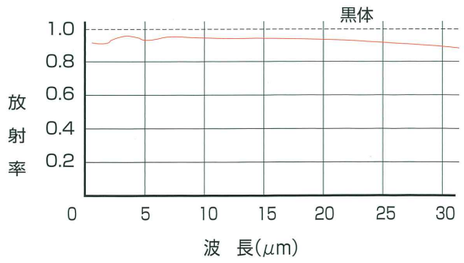
【雰囲気温度27℃・ヒータ容量400W】



※ヒータ表面温度の昇降温曲線です。温度センサーで検出される温度とは異なります。

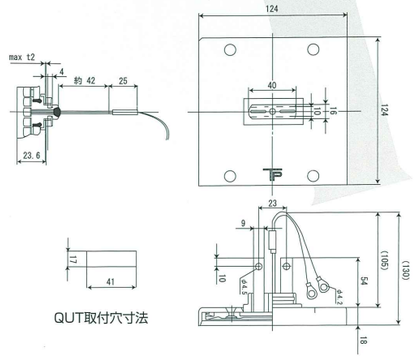
放射特性

測定温度500℃



このヒータは金属（合金）薄帯を発熱体として、その表面に特殊セラミックスを処理し、
直接通電することにより発熱させる中・遠赤外線ヒータです。

外形図



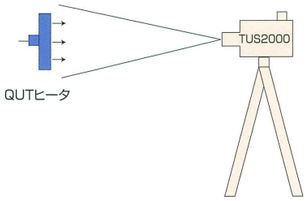
QUT取付穴寸法

仕　様

	QUT50 1B	QUT50 1BTL	QUT50 2B	QUT50 2BTL
ヒータ表面許容温度(℃)	700	650	700	650
温度センサー 有・無	無	有	無	有
セラミック溶射区分	ブルー			
ケース寸法(mm)	124×124×18			
放射面寸法(mm)	115×115			
質量(g)	360			
端子部ネジ(mm)	M4.0			

●通電中は発熱体に直接手や金属片を接触させないでください。

発熱体の種類別消費電力と表面温度



ヒータQUT50-1シリーズ品

電圧(V)	電流(A)	電力(kW)	温度(℃)
35	17.1	0.60	563
30	14.7	0.44	484
25	12.3	0.31	416
20	9.9	0.20	331
15	7.5	0.11	243

ヒータQUT50-2シリーズ品

電圧(V)	電流(A)	電力(kW)	温度(℃)
25	23.3	0.58	547
20	18.7	0.37	460
15	14.2	0.21	338

●QUT50-1とQUT50-2シリーズでは、最大使用電圧は異なります。
●上記の表面温度はヒータ反射板等使用しない場合のデータです。
●上記の温度以上で使用する場合はご相談ください。

接続例

QUTヒータは1個だけを100V、200Vに直接接続できません。200V接続使用例を下記に示します。

1. 単体使用の場合…AC入力電圧200Vから実効電圧に変換してください。
2. 2～6個の場合…AC入力電圧200Vから実効電圧に変換してください。
3. 7個以上の場合…AC入力電圧200V直接接続可能です。

E＝ヒータ1個の電圧(V)
N＝ヒータ数
I＝電流値(A)
R＝ヒータ1個の抵抗値(約1Ω)QUT50-2
P＝電力(W)

1 QUT50-2Bでヒータ温度547℃が必要の場合AC入力電圧200Vを実効電圧25Vになるように電圧変換してください。

E=25V
I=23.3A
P=25V×23.3A≒580W

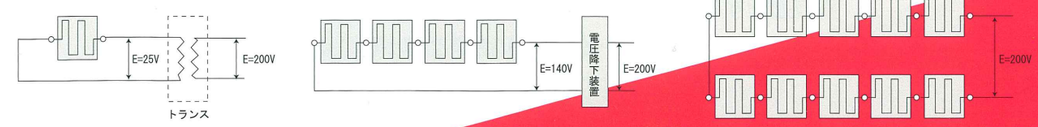
0.58kW

2 QUT50-1Bでヒータ温度563℃が必要の場合AC入力電圧200Vを実効電圧35Vになるように電圧変換してください。

E=35V
I=17.1A
P=35V×17.1A≒600W

0.6kW×4ヶ=2.4kW

3 AC200V電源にQUT50-2ヒータ10個を接続した場合

E=200V／10ヶ=20V
I=20V／1Ω=20A
P=20V×20A=400W

0.4kW×10ヶ=4.0kW